

東京大空襲 79 年

東京大空襲を 語り継ぐつどい

東京大空襲・戦災資料センター 開館 22 周年

- 日 時 2024 年 3 月 9 日 (土)
- 開 場 13 時 開 会 13 時 30 分 (閉会予定 16 時 20 分)
- 会 場 江東区深川江戸資料館 2 階小劇場
- 参加費 1,000 円
- 定 員 200 名 (事前申し込み制 先着順 当日参加は出来ません)

◆講演

無差別爆撃の出撃基地となった沖縄／日本 —沖縄からの本土爆撃と朝鮮戦争—

講師 林 博史氏 (関東学院大学教授)

東京大空襲から本格化した米軍による民間人に対する無差別爆撃は、太平洋戦争中には沖縄から九州への無差別爆撃にも広がりました。さらに朝鮮戦争では日本が協力して、B29 が嘉手納(沖縄)と横田(東京)から朝鮮半島北部への無差別爆撃を何倍もの規模でおこないました。東京大空襲などの被害者の声に耳を傾けない日本政府は無差別爆撃の加害に加担するようになりました。東京大空襲は日本社会にとって決して終わった出来事ではありません。そのことを一緒に考えたいと思います。

【プロフィール】



関東学院大学教授。専攻現代史、日本軍・米軍の戦争犯罪・戦争責任など。

主な著書 『沖縄からの本土爆撃—米軍出撃基地の誕生』吉川弘文館、2018 年、『朝鮮戦争 無差別爆撃の出撃基地・日本』高文研、2023 年、『米軍基地の歴史—世界ネットワークの形成と展開』吉川弘文館、2012 年、『日本軍「慰安婦」問題の核心』花伝社、2015 年、『帝国主義国の軍隊と性—売春規制と軍用性的施設』吉川弘文館、2021 年、など。

◆東京大空襲を語り継ぐ

- * 体験を語る「私の 1945 年」 竹内静代さん
- * センターのこの一年の活動
- * センターで学ぶ生徒たち



〈主 催〉東京大空襲を語り継ぐつどい実行委員会

〈連絡先〉東京大空襲・戦災資料センター

〒136-0073 東京都江東区北砂 1-5-4

TEL:03-5857-5631 FAX:03-5683-3326

<https://tokyo-sensai.net/>

申込方法

1. Google フォームより →



2. FAX 03-5683-3326

3. 電話 03-5857-5631

申し込みの際には下記事項をお知らせください。

①参加者名 ②参加者の住所 ③携帯電話など当日連絡のつく電話番号

申し込み人数は2名まで

申込受付開始 2024年2月15日(木)

※ 後日、つどいの模様を録画した映像を、インターネットで有料限定配信し、DVDでも販売いたします(いずれも1,000円)。定員に達して会場参加できなかった場合などは、こちらでご視聴ください。申し込み方法はホームページにて別途お知らせいたします。

東京大空襲・戦災資料センター

1945年(昭和20年)3月10日未明、約300機のアメリカ軍爆撃機B29が、東京下町を目標に焼夷弾による無差別爆撃をおこないました。一帯は火災地獄と化し、罹災者は100万人をこえ、推定10万人もの尊い命が失われました。東京は3月10日を含めて100回以上の空襲を受け、市街地の5割を焼失しました。

1970年から「東京空襲を記録する会」が空襲の実態の掘り起こしを進めましたが、東京都は1999年に「平和祈念館」建設計画を凍結。記録する会と財団法人政治経済研究所は、やむにやまれぬ思いで民間募金を呼びかけ、4000人超の方々のご協力を得て、2002年3月9日に東京大空襲・戦災資料センターが開館しました。開館から22年間、多くの方のご支援のもと、国立民営の平和博物館として、来館者に空襲の実相、いのちと平和の尊さを伝えてきました。



会場案内

江東区深川江戸資料館 2階小劇場
〒135-0021 東京都江東区白河1-3-28

アクセス

東京メトロ半蔵門線・都営大江戸線「清澄白河」駅
A3出口より徒歩3分